

社会福祉法人

秀幸福社会

2021・No.251

1月



特別養護老人ホーム庄栄エルダーセンター

- エルダーショートステイ
- エルダーケアプランセンター
- エルダーデイサービスセンター
- 認知症対応型デイサービスセンター
- エルダーヘルパーステーション
- 障害福祉サービス事業(エルヘルパーステーション)
- 移動支援事業(エルヘルパーステーション)
- 茨木市産前産後ヘルパー派遣事業
- エルダー診療所
- 社会貢献事業(生活困窮者レスキュー事業)
- 介護タクシー
- コミュニティソーシャルワーカー配置促進事業

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-38
TEL 072-631-5151 FAX 072-631-5141

茨木市地域包括支援センターエルダー

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-38
TEL 072-631-5200 FAX 072-631-5222

東・白川地域包括支援センター

〒567-0806 大阪府茨木市鮎川1丁目6-4
TEL 072-636-8686 FAX 072-636-8687

いきいきネット相談支援センターエルダー

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-38
CSW 専用携帯 080-8946-3999
FAX 072-631-5141

高槻エルダーセンター

〒569-0811 大阪府高槻市東五百住町2丁目4-32
TEL 072-690-5151 FAX 072-690-5141

地域密着型デイサービスセンター 未来

〒567-0823 大阪府茨木市寺田町8-20
ピアハイツ幸1階
TEL 072-635-8484 FAX 072-635-8451

相談支援センター ひまわり

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目6-32
TEL 072-626-3310 FAX 072-626-3340

放課後等デイサービス ひまわり

〒567-0806 大阪府茨木市庄1丁目13-27
TEL 072-623-5511 FAX 072-623-5550

放課後等デイサービス フォルテひまわり

〒567-0806 大阪府茨木市庄1丁目7-27
ピアフォルテ102・103
TEL 072-622-6081 FAX 072-622-6082

茨木市地域活動支援センターⅢ型 ひまわりの杜

〒567-0022 大阪府茨木市三島町1-10
TEL 072-625-8070 FAX 072-625-8071

就労継続支援B型 ファーム大岩の杜

〒567-0022 大阪府茨木市三島町1-10
TEL 072-625-8070 FAX 072-625-8071

認定こども園 ちとせ学院

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目7-35
TEL 072-626-2191 FAX 072-626-2192

認定こども園 ちとせ学院 めぐみの森

〒567-0814 大阪府茨木市戸伏町13-35
TEL 072-626-1606 FAX 072-626-3164

認定こども園 ちとせ学院 Due 南茨木

〒567-0868 大阪府茨木市沢良宜西1丁目10-31
TEL 072-638-9191 FAX 072-638-9192

茨木市福井多世代交流センター

〒567-0062 大阪府茨木市東福井2丁目23-22
TEL 072-643-1300 FAX 072-643-1300

恵の杜(総合相談センター)

〒567-0806 大阪府茨木市庄2丁目6-32
TEL 072-631-6361



謹んで新年のお慶びを

申し上げます。

旧年中は、ひとかたならぬご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて昨年は、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延により、日常生活が一変し、普段当たり前であった行動が制限され、様々な面でその影響が及んだ一年となりました。

当然のことながら、私ども福祉介護に携わるものとして、その業務を止めることは出来ません。

支援を必要とされる方々のご要望に迅速かつ適切に、また安全にサービスを提供すべく、法人職員一丸となつて、コロナ禍の一日も早い収束を願いつつ、今後も全身全霊をかけて、取り組んでいく所存でございます。

皆様におかれましては、感染症拡大防止にご注意をいただきながら、今年も引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、年頭の挨拶とさせていただきます。

令和三年 元旦

社会福祉法人 秀幸福社会

理事長 中尾 巖

庄栄エルダーテイサービスセンター

皆さま、お正月はいかがお過ごしだったでしょうか？今年の年越し・お正月は今までとは違った方が多かったのではないのでしょうか。

さて 2021 年のテイサービスは、1/4(月)から仕事初めをさせていただきます、顔馴染みの職員一同で皆さまのお越しをお待ちしております。

現在、庄栄エルダーテイサービスの職員は、男性職員が 6 名 女性職員が 19 名・ドライバーが 2 名の計 27 名の職員が在籍しております。ここ 4 年間は誰も辞める事無く同じメンバーで仕事ができています。 (引越や引退は除く)笑



本年も、この同じメンバーでワイワイ♪ガヤガヤ♪
お客様達と楽しい時間を過ごせたらと思っています。
どうぞ宜しくお願い致します。

2021年1月4日
庄栄エルダーテイサービス
職員一同

庄栄エルダーホームヘルプステーションです！

～12月～

いつもご利用ありがとうございます。

・今月に入り、新型コロナウイルスの感染者の数が増えてきており、なお一層の感染予防をしていかなければなりません。

集団での会議を中止しヘルパーさんは、エルダーセンターに入らない事は、継続しています。

無症状の感染者もいることから、常に自分が感染しているかもしれないと意識して対応していきます。

身体介護におきましては、身近に接する事がありますので、フェイスシールド、ゴーグルで対応させていただきます。

生活援助でもヘルパーとの距離を離れる、窓を開ける、同じ空間に居ないマスクをつけるなど、ご協力お願いします。



新型コロナ感染予防により、突然ヘルパーを自宅待機となる事態が数件続いています。

いずれもヘルパーに感染はありませんが、予防の為の自宅待機などの措置はこれからも続くと考えられます。

利用者様におきまして、担当のヘルパーが変更もしくは、時間が変更などが急に起きる事になり、ご迷惑をお掛けしています。

申し訳ございませんが、この事態が続いている当面につきまして、ご協力をお願いしたいと思います。

今できる限りの感染予防を行い、安心安全に対応していきます。

サービス提供責任者：杉浦・園山・高木・松尾・船戸

コロナウイルスよ、早く収まれ～～！ 疫病退散！！

新しい年を迎え、今年こそは平穏な年になってほしいものですね…。

丑(うし)年だけに「コロナウイルスは、去～～たくさん！」という感じですねえ。

コロナ禍でよく目にした「疫病退散！」のアマビエの絵。

今回は、知ってそうで知らなかったそのアマビエについて、紹介します。



アマビエは、江戸時代後期に製作された瓦版(当時の新聞)に絵と文が記されている。そこには、肥後国(現:熊本県)の夜の海に突如、光物が起こり、それを見に行った土地の役人の前にアマビエと名乗るものが出現。「当年より6ヶ年は豊作。しかし疫病も流行るので、私の姿を描き写した絵を人々に早々に見せよ」

と予言めいたことを告げたとされている。もとは、妖怪にアマビコとあり、予言・除災の意味合いを持っているとされている。



～門松って、なぜ飾るの？～

「今年は、良い年になりますように！」

「門松」は、「年神様を家に迎えるための飾り」

昔から、毎年正月には、「年神様」と呼ばれる神様が各家庭へ訪れるといわれています。

その年の福や徳を司る「歳神様」や先祖の霊、穀物の神といったいくつもの神様がひとつにまとめられ、民間信仰として伝わってきたものとされています。

一年中落葉しない松、成長が早く生命力が強い竹、新春に開花し年始にふさわしい梅と3つの縁起物で作られます。



● 法人理念 ●

社会福祉法人 秀幸福社会は多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が尊厳を保持しつつ心身ともに健やかに育成され、又その有する能力に応じた自立した日常生活を地域社会において営む事が出来るよう支援することを目的としています。

● 運営目標 ●

- I 心が美しい人間になろう。
- II ひとり一人がみんなの命のぬくもりを大切にしよう。
- III やる気、本気で精一杯力を出し合おう。

● 施設運営方針 ●

I 施設の使命

老人福祉施設庄栄エルダーセンターは、地域社会の支持を受け、開かれた施設として高齢者が地域社会の中で安心して生活を送ることができる、拠点施設となる事を使命とします。

II 利用者の生活の質の向上

老人福祉施設は尊厳を持って、利用者の個別ニーズに対応した自己決定を基盤とする自立支援をすると共に、優しさあふれた明るい施設作りを目指します。

III 職員の質の向上と専門性の向上

老人福祉施設の職員は常に質の高いサービスができるよう外部、内部研修に力を入れ円滑な人間関係の下『知識』『知恵』のあるケースを提供することを目的とします。

IV 地域福祉の向上

庄栄エルダーセンターは交通の利便性、人口密集地区にある施設として、施設、家族、地域の『きずな』を重視し、福祉サービスの発信基地、ボランティア活動の拠点となり、保健、医療機関との連携を密にして、地域の福祉の向上に努めます。